

平成 17 年 9 月 5 日
内閣府
大臣官房政府広報室

「地域再生に関する特別世論調査」結果の訂正について

去る 7 月 7 日に結果を公表した標記の世論調査について、データの収集上問題がある可能性があることが判明したため、内閣府では、世論調査の信頼性を確保する観点から、当初有効回答とされていた 2,108 人分すべてについて、調査委託先に対し、収集の状況を改めて確認させた上で、適切に収集されたと確認できたデータのみを再集計いたしました。その結果を別紙のとおり訂正公表します。

1. 既公表結果

調査日 : 平成 17 年 6 月 9 日 ~ 6 月 19 日
対象 : 全国 20 歳以上の男女 3,000 名
有効回収数 : 2,108 人 (70.3%)

2. 訂正結果

確認実施期間 : 平成 17 年 8 月 12 日 ~ 8 月 21 日
確認対象 : 1. の有効回収数 2,108 人
訂正後有効回収数 : 1,551 人 (51.7%)

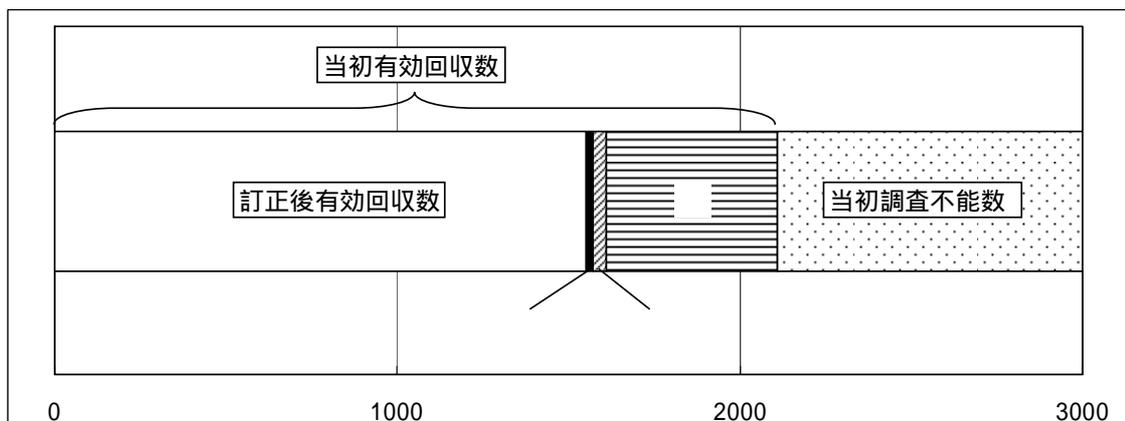
既公表結果と訂正結果の関係

今回公表する訂正結果は、「地域再生に関する特別世論調査」の既公表結果から、調査対象者への確認の結果判明した以下のデータを除いた上、再集計したものである。

調査を受けていないとの回答があったもの	22件
本来の調査対象者でない家族が調査を受けたとの回答があったもの	38件
確認できなかったデータ (連絡が取れない、記憶が定かでない、など)	497件

その結果、有効回収数は、1,551人(51.7%)となった。

(参考)



「地域再生に関する特別世論調査」の概要（訂正版）

平成17年 9月
内閣府政府広報室

<はじめに>

本調査は、7月7日に結果を公表したところであるが、その後、データ収集上の問題がある可能性があることが判明したため、確認調査を行い、適切に収集されたと確認できたデータのみを再集計したので、その結果を公表する。

- 調 査 対 象 全国20歳以上の者3,000人
有効回収数：1,551人（51.7%）
調査期間 平成17年6月9日～6月19日
- 調 査 目 的 地域再生に関する国民の意識を調査し、今後の施策の参考とする。
- 調 査 項 目 (1) 住んでいる地域は元気があると思うか
(2) 住んでいる地域が元気になるために期待する施策
(3) 中心となって活動すべき人々や団体
(4) 地域が元気になるための活動に参加したいと思うか
(5) 提案制度について

<お願い>

本資料の内容を引用された場合、その掲載部分の写しを
下記宛にご送付ください。

内閣府大臣官房政府広報室
世論調査担当

〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1
電話 03(5253)2111 内線 82780～82783

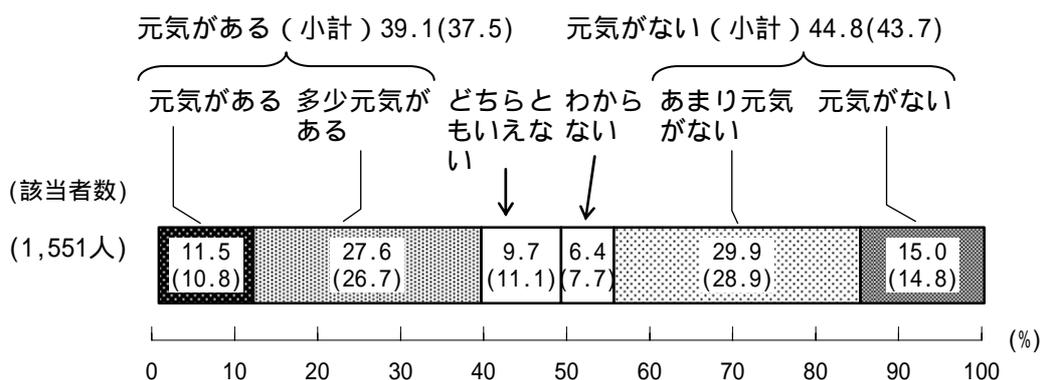
「地域再生に関する特別世論調査」の要旨（訂正版）

平成17年 9月
内閣府政府広報室

調査時期 : 平成17年6月9日から平成17年6月19日
調査対象 : 全国20歳以上の者3,000人
有効回収数 : 1,551人(51.7%)

1 住んでいる地域は元気があると思うか
(1) 住んでいる地域は元気があると思うか

	平成17年6月	
	(訂正前)	(訂正後)
・元気がある	10.8%	11.5%(+0.7)
・多少元気がある	26.7%	27.6%(+0.9)
・あまり元気がない	28.9%	29.9%(+1.0)
・元気がない	14.8%	15.0%(+0.2)
・どちらともいえない	11.1%	9.7%(-1.4)
・わからない	7.7%	6.4%(-1.3)



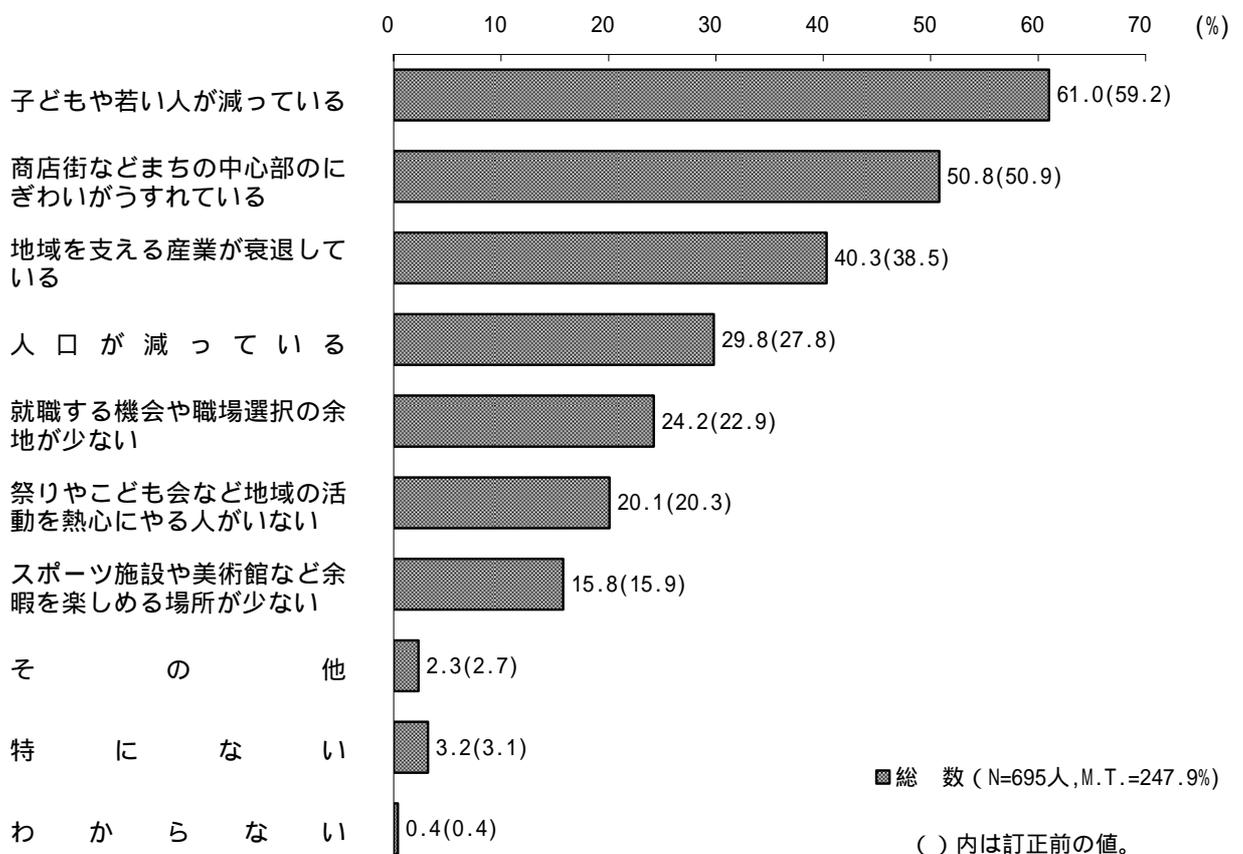
()内は訂正前の値。

平成 17 年 6 月
 (訂正前) (訂正後)

(2) 住んでいる地域に元気がない理由(複数回答)

・子どもや若い人が減っている	59.2%	61.0%(+1.8)
・商店街などまちの中心部にぎわいがうすれている	50.9%	50.8%(-0.1)
・地域を支える産業が衰退している	38.5%	40.3%(+1.8)
・人口が減っている	27.8%	29.8%(+2.0)

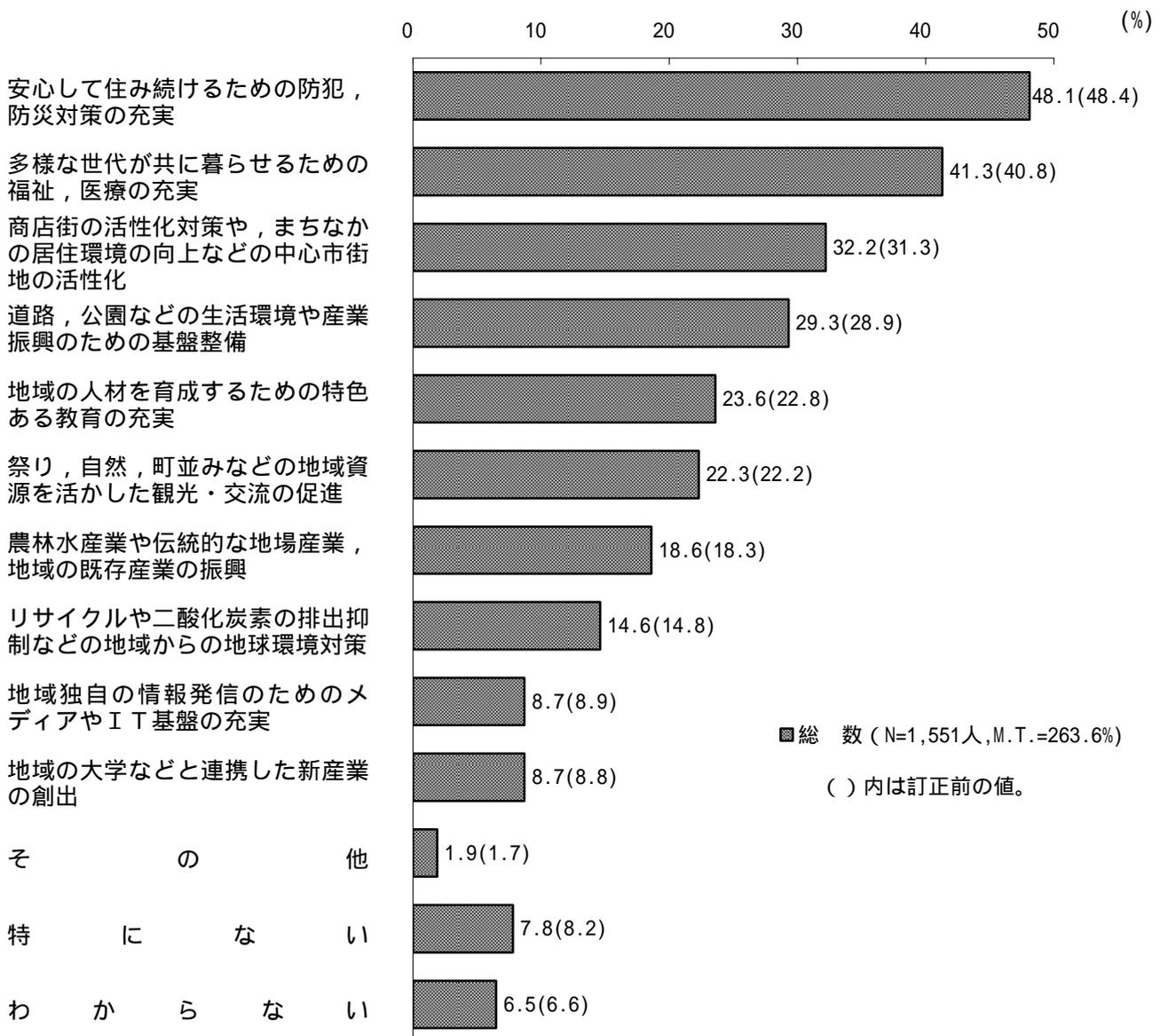
(住んでいる地域が「元気がない」とする者に、複数回答)



平成 17 年 6 月
 (訂正前) (訂正後)

2 住んでいる地域が元気になるために期待する施策(複数回答)

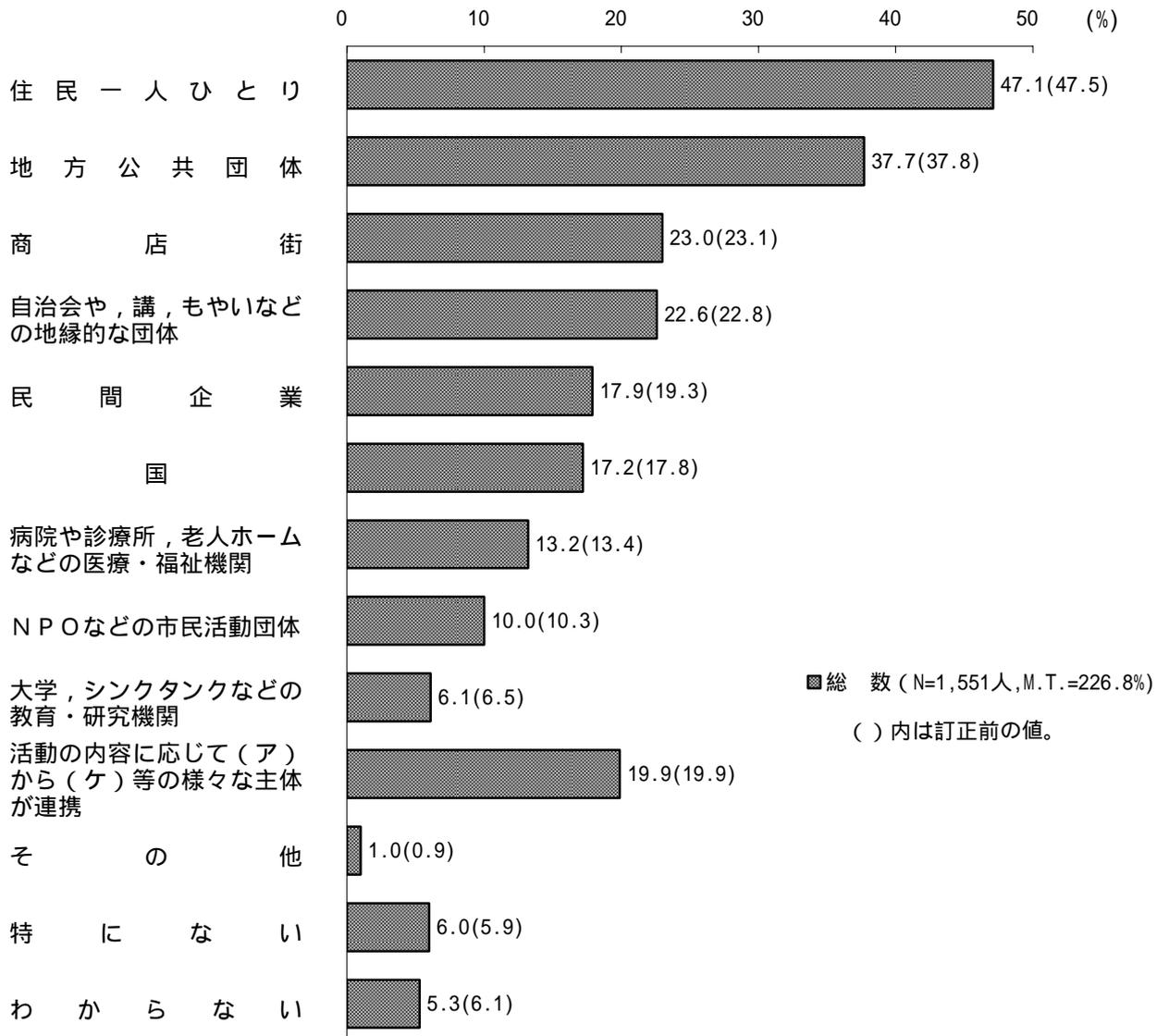
・安心して住み続けるための防犯、防災対策の充実	48.4%	48.1%(-0.3)
・多様な世代が共に暮らせるための福祉、医療の充実	40.8%	41.3%(+0.5)
・商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上などの中心市街地の活性化	31.3%	32.2%(+0.9)
・道路、公園などの生活環境や産業振興のための基盤整備	28.9%	29.3%(+0.4)



平成 17 年 6 月
 (訂正前) (訂正後)

3 中心となって活動すべき人々や団体 (複数回答)

・住民一人ひとり	47.5%	47.1% (-0.4)
・地方公共団体	37.8%	37.7% (-0.1)
・商店街	23.1%	23.0% (-0.1)
・自治会や、講、もやいなどの地縁的な団体	22.8%	22.6% (-0.2)

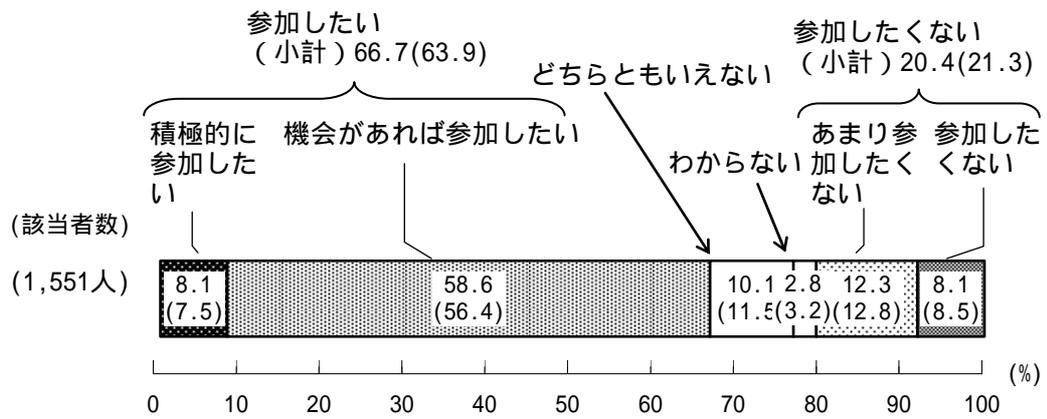


平成 17 年 6 月

(訂正前) (訂正後)

4 地域が元気になるための活動に参加したいと思うか

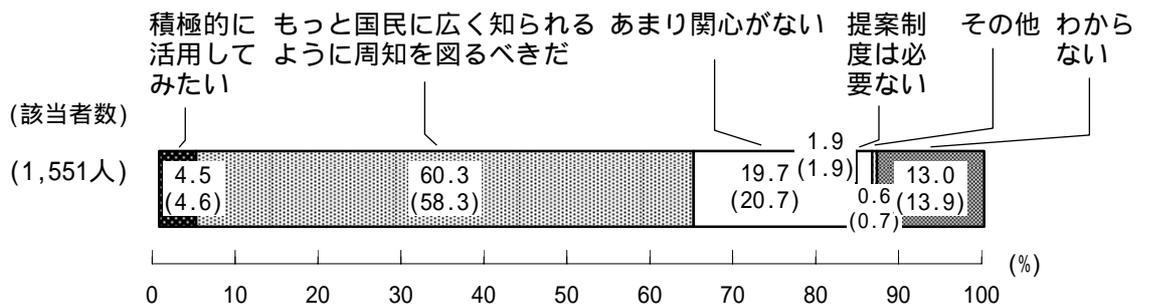
・積極的に参加したい	7.5%	8.1%(+0.6)
・機会があれば参加したい	56.4%	58.6%(+2.2)
・あまり参加したくない	12.8%	12.3%(-0.5)
・参加したくない	8.5%	8.1%(-0.4)
・どちらともいえない	11.5%	10.1%(-1.4)
・わからない	3.2%	2.8%(-0.4)



()内は訂正前の値。

5 提案制度について

	(訂正前)	(訂正後)
・積極的に活用してみたい	4.6%	4.5%(+0.1)
・もっと国民に広く知られるように周知を図るべきだ	58.3%	60.3%(+2.0)
・あまり関心がない	20.7%	19.7%(-1.0)
・提案制度は必要ない	1.9%	1.9%(+0.0)
・その他	0.7%	0.6%(-0.1)
・わからない	13.9%	13.0%(-0.9)



()内は訂正前の値。

地域再生に関する特別世論調査(訂正版)

{
 調査時期：平成 17 年 6 月 9 日から平成 17 年 6 月 19 日
 調査対象：全国 20 歳以上の者 3,000 人
 回収結果：1,551 人 (51.7%)

平成 17 年 9 月

話は変わりますが、次に時事問題として「地域再生」についてお伺いします。

〔参考資料 をよく読んでもらってから質問する〕

〔参考資料 〕

現在、国は地域再生本部（本部長：小泉純一郎総理大臣）の下、地域再生を推進しています。

「地域再生」とは、雇用の創出や地域経済の活性化など地域が元気を取り戻したり、更に元気になることを目的として、地域が行なう自主的・自立的な取組を国が支援することです。

Q 1 〔回答票 26〕あなたのお住まいの地域（市区町村）は、元気があると思いますか。この中から 1 つだけお答えください。

訂正前	(10.8)	(26.7)	(28.9)	(14.8)	(11.1)	(7.7)
訂正後	(11.5)	(27.6)	(29.9)	(15.0)	(9.7)	(6.4)
	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)		
	元気がある	多少元気がある	あまり元気がない	元気がない	どちらともいえない	わからない
	└─┬─┘		↓			
	→ (Q 2 へ)			└─┬─┘ (Q 2 へ)		

S Q 〔回答票 27〕あなたが住まいの地域は、どのような点で「元気がない」と感じますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.) (N=695)

訂正前 訂正後

- (38.5) (40.3) (ア) 地域を支える産業が衰退している
- (22.9) (24.2) (イ) 就職する機会や職場選択の余地が少ない
- (27.8) (29.8) (ウ) 人口が減っている
- (59.2) (61.0) (エ) 子どもや若い人が減っている
- (50.9) (50.8) (オ) 商店街などまちの中心部にぎわいがうすれている
- (15.9) (15.8) (カ) スポーツ施設や美術館など余暇を楽しめる場所が少ない
- (20.3) (20.1) (キ) 祭りやこども会など地域の活動を熱心にやる人がいない
- (2.7) (2.3) その他 ()
- (3.1) (3.2) (ク) 特にない
- (0.4) (0.4) わからない

(M.T. = 247.9)

Q 2 〔回答票 28〕現在、地域再生本部では、地域再生のため、様々な施策を推進しています。あなたのお住まいの地域が元気を取り戻したり、更に元気になるために、特に期待する政策はどのようなものですか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

訂正前 訂正後

- (18.3) (18.6) (ア) 農林水産業や伝統的な地場産業、地域の既存産業の振興
 (8.8) (8.7) (イ) 地域の大学などと連携した新産業の創出
 (22.8) (23.6) (ウ) 地域の人材を育成するための特色ある教育の充実
 (40.8) (41.3) (エ) 多様な世代が共に暮らせるための福祉、医療の充実
 (48.4) (48.1) (オ) 安心して住み続けるための防犯、防災対策の充実
 (28.9) (29.3) (カ) 道路、公園などの生活環境や産業振興のための基盤整備
 (22.2) (22.3) (キ) 祭り、自然、町並みなどの地域資源を活かした観光・交流の促進
 (14.8) (14.6) (ク) リサイクルや二酸化炭素の排出抑制などの地域からの地球環境対策
 (8.9) (8.7) (ケ) 地域独自の情報発信のためのメディアやIT基盤の充実
 (31.3) (32.2) (コ) 商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上などの中心市街地の活性化
 (1.7) (1.9) その他 ()
 (8.2) (7.8) (サ) 特にな
 (6.6) (6.5) わからない

(M.T. = 263.6)

Q 3 〔回答票 29〕あなたのお住まいの地域が元気を取り戻したり、更に元気になるために、地域のどのような人々、団体が中心となって活動すべきだと思いますか。この中からいくつでもあげてください。(M.A.)

訂正前 訂正後

- (17.8) (17.2) (ア) 国
 (37.8) (37.7) (イ) 地方公共団体
 (47.5) (47.1) (ウ) 住民一人ひとり
 (19.3) (17.9) (エ) 民間企業
 (10.3) (10.0) (オ) NPOなどの市民活動団体
 (22.8) (22.6) (カ) 自治会や、講、もやいなどの地縁的な団体
 (23.1) (23.0) (キ) 商店街
 (6.5) (6.1) (ク) 大学、シンクタンクなどの教育・研究機関
 (13.4) (13.2) (ケ) 病院や診療所、老人ホームなどの医療・福祉機関
 (19.9) (19.9) (コ) 活動の内容に応じて(ア)から(ケ)等の様々な主体が連携
 (0.9) (1.0) その他 ()
 (5.9) (6.0) (サ) 特にな
 (6.1) (5.3) わからない

(M.T. = 226.8)

Q 4 〔回答票 30〕あなた自身は、あなたのお住まいの地域が元気を取り戻したり、更に元気になるための活動に参加したいと思いませんか。この中から1つだけお答えください。

訂正前 訂正後

- | | |
|-------------------------------|---------------------------|
| (7.5) (8.1) (ア) 積極的に参加したい | (8.5) (8.1) (エ) 参加したくない |
| (56.4) (58.6) (イ) 機会があれば参加したい | (11.5) (10.1) どちらともいえない |
| (12.8) (12.3) (ウ) あまり参加したくない | (3.2) (2.8) わからない |

〔参考資料をよく読んでもらってから質問する〕

〔参考資料〕

構造改革特区や地域再生などの取組みでは、誰でも規制改革や補助金改革などの分野において国の制度を変えるための提案をし、国の政策立案に参画することができる提案制度を設けています。

国の規制に関する規制緩和の提案や、ひとつづくりの促進、民間のノウハウ・資金等の活用促進、権限移譲や社会実験などの推進、補助金制度改革の推進に関する国からの支援に関する提案など、幅広く対象となります。

単に税や補助金の優遇を求める提案については、検討の対象外となります。

Q5 〔回答票31〕あなたは、この提案制度についてどう思いますか。この中から1つだけお答えください。

訂正前 訂正後

- | | | | | |
|--------|--------|-----|-------------------------|---|
| (4.6) | (4.5) | (ア) | 積極的に活用してみたい | |
| (58.3) | (60.3) | (イ) | もっと国民に広く知られるように周知を図るべきだ | |
| (20.7) | (19.7) | (ウ) | あまり関心がない | |
| (1.9) | (1.9) | (エ) | 提案制度は必要ない | |
| (0.7) | (0.6) | | その他(|) |
| (13.9) | (13.0) | | わからない | |